

富山赤十字病院第五次中長期経営計画（2024年度～2029年度）

2024年5月作成／2025年 月改訂／2026年 月改訂
／2027年 月改訂／2028年 月改訂／2029年 月改訂

項 目			
第五次中長期経営計画の 重点目標	基本戦略		
	1 理念の継承・見直し	④オンラインを活用した医療サービス提供 電子処方箋の導入 オンライン資格確認を利用した特定健診・薬剤情報の利用 救急時医療情報閲覧機能の体制整備 ⑤ネットワークセキュリティに関する職員の研修会開催と実施 SNSなどを通じた個人情報の漏洩などに対する教育 サイバーセキュリティ対策等における事業継続 マニュアル（BCP）及び対策マニュアルの整備・随時見直し ⑥病院施設・健診施設・臨床研修施設の各機能評価受審に 向けての準備・対応チームの整備	（4）地域包括ケアに対応できる 人材の育成と活用 ①認知症看護実践能力の向上 ②入退院支援・訪問看護の充実 ③特定行為に係る看護師の育成
	（1）理念の職員への浸透 当院の存在意義や理念を再確認し周知 をはかる （2）理念の見直し 内外環境の変化に伴う理念の見直しを 適時行う	（2）患者支援センターの充実 ①地域医療連携の強化・推進（予約減に対する対策） ②ベッドコントロールの円滑化 ③入退院支援・療養支援（PFM業務）の強化 ④開業医向けにアピールしたい領域の情報提供	（5）災害・救護医療の充実 ①災害拠点病院としての体制構築 ②大規模災害時における事業継続マニュアル（BCP） および対策マニュアルの整備・随時見直し ③感染症蔓延時における事業継続マニュアル（BCP） 及び対策マニュアルの整備・随時見直し ④受援マニュアルの整備 ⑤感染症蔓延・大規模災害時の救護訓練の実施 ⑥DMAT・日赤救護班の充実 ⑦大規模災害に対応した院内インフラの改善 現段階での災害対応状況の検証・調査
1 災害医療機能の充実 赤十字の使命である災害医療に備える。 また、新興感染症流行に対応できる病院 の業務継続計画の策定を促進する。	2 質の高い医療の提供	（6）がん診療・血管内治療の充実 ①地域がん診療連携拠点病院認定の取得 ②手術、化学療法、放射線治療、緩和医療 などの集学的治療体制の構築 ③外来化学療法室症例数の増加 ④放射線治療患者数の増加、放射線治療 専門医の確保 ⑤H Pを利用した当院のがん治療情報の公開 ⑥広角的な視点での患者への追加がん検査実施 ⑦脳血管内治療の充実（脳血管センターの活用） ⑧循環器疾患への対策（心血管内治療の充実）	⑨妊孕性温存療法等提供体制の充実 ⑩がん患者などの社会的問題への対応 ⑪ダヴィンチ導入によるさらに高度ながん治療を実現
2 地域医療連携の強化 医療と介護の連携から地域内連携強化を 図り、地域における多職種協働と、切れ 目のない医療介護サービスを提供する。	（1）医療に関する安全性の充実・推進 ①医療安全対策の充実 院内研修の定期実施（教育、啓発） 5S活動、チームステップス教育 安全管理マニュアルの評価、修正 と職員への周知徹底 医療事故防止対策（予防） ②院内感染対策の充実 院内研修の定期実施（教育、啓発） 感染防止マニュアルの評価、修正、周知徹底 感染防止対策（予防） 新興感染症への対応（教育・周知） ③チーム医療の充実 多職種連携の強化	（3）救急医療の強化 ①二次救急体制の維持 ②断らない医療体制の構築 救急体制の効率化・高度化の検討 ③救急専門医の招致・育成 ④日本救急医学会の専門医認定施設の認定取得 ⑤救急医療従事者養成のための教育・研修体制の充実 ⑥診断までのスムーズな体制構築 ⑦検査体制の見直し、効率化 ⑧増加していく高齢患者への対応の検討	（7）生活習慣病対策の推進 ①糖尿病への対策 特定健診、特定保健指導の普及、啓発 ②健診部門の充実 特定健診、特定保健指導体制の充実 健診項目の見直し、追加 生活習慣改善の普及啓発 がんの正しい知識、予防方法の普及啓発 健診後の安心でわかりやすい診療ルートの説明
3 救急医療体制の基盤整備・強化 引き続き急性期病院として二次救急輪番 病院を維持し、断らない医療体制をつく る。 安心・信頼して必要な医療を提供できる 体制を整備する。	4 高度医療の提供による がん診療、血管内治療の充実		（8）その他の医療 ①専門外来の充実 ②総合診療科の設置 ③臓器提供体制の充実 ④難病医療の対策
がん診療の充実をはかり、手術 ・化学療法 ・放射線治療 ・緩和医療などの集学的治療 体制を構築する。 救急医療の強化の一つとして、血管内治療 （心・脳）の充実を図る。 新規に導入・整備予定の医療機器の 有効活用	5 BSC推進による目標達成 各部署でBSCを作成し、戦略を可視化する。 中長期経営計画、予算作成への導入。	（2）収支改善のための支出統制 ①購買業務の強化 在庫管理の徹底・後発品医薬品の使用促進 赤十字グループメリットの活用による費用削減計画 （購買情報、研修） ②省エネルギー対策 ③DHC更新への対応検討	（6）電子カルテの改善 ①システムの改善、容易なマスタ管理 ②医師と他職種との適切な役割分担 ③医療DX等のIT資産の活用を円滑に行うための 体制整備
6 働き方改革 適切なタスクシフト・タスクシェアを進 め、働き続けられる職場環境を整備す る。		（3）人材確保と育成 ①医療従事者の安定確保（医師、看護師、薬剤師、 放射線技師、検査技師、臨床工学技士など） ②質の高い医療従事者の育成 専門医、専門・認定看護師の育成、 病院の強みとなる医師の招聘 健康生活支援・幼児安全法指導員の育成と派遣 ③キャリア開発ラダーの活用による職員の育成 ④新規導入機器を活用できる人材の登用と後任教育 ⑤働きやすい職場環境の整備（ワークライフ バランス推進） 働き方改革に伴う業務改善を図る タスクシフト・シェアの推進 医療従事者の負担軽減の促進 医師クラークの活用による医師業務の負担軽減・円滑化 ⑥職員の資格取得に係る研修費等の助成制度の開始	（4）患者サービスの向上 ①職員のホスピタリティ（接遇スキル）の醸成 ②患者満足度調査の継続 ③待ち時間の改善 更なる逆紹介の推進 ④アメニティの充実 個室の環境整備・老朽化した院内設備の改修 ⑤新ホームページを活用した積極的な情報発信 ⑥病院パンフレット、院外報の充実 （やすらぎ、えん、かがやき） ⑦患者からの投書、職員意見聴取 ⑧公開講座等新たな情報提供手段の構築 ⑨報道機関への積極的な記事投稿 ⑩患者が安心して来院できる感染対策
			（5）医療機器の整備と有効活用 ①診療方針に対応した高額医療機器の計画的整備 BSCと連動した機器の整備 ②適正な予約管理に基づく院内外での有効活用 医療機器稼働状況調査と必要機器の検討 ③ダヴィンチ・整形外科手術支援ロボットの整備